

国際文化ビジネス・観光学科の主要科目の特徴

学科基礎科目

国際文化ビジネス・観光学入門

「国際コミュニケーション」「文化ビジネス」「観光」の3つのパートを、担当教員が交代で講義を行う学科基礎科目です。グローバル社会とコミュニケーションやフィールドワークやプレゼンテーションを通しての文化理解、観光産業の構成と特徴から、観光政策・行政の編成と現状について学びます。

基幹ユニット科目

ファッション生活論

感性価値の多様化と文化度レベルが向上しているファッション生活者を深く洞察し体系的に捉える方法を学ぶ。また私たちの生活に関わる企業がどのようにファッション生活者を洞察しブランド訴求しているのかを実践的事例を導入しながら理論的枠組みを学ぶ。生活文化意識と生活業態の基礎的理論を理解し、その考え方に沿った企業のブランド戦略を解説できること。経営者視点で企業理念を捉えられることを目標とする

観光文化論

観光は大量の人間とかがわった、グローバル社会で展開する重要な社会現象であり、すさまじい勢いで量的拡大をつづけている。さまざまな利害が複雑にからんだ観光現象を、それを取りまく社会・文化的背景のもとで考察し、グローバル社会で起きている観光文化のさまざまな問題を知り、また、グローバルな視点にたつて、それらの問題を考察できるようになること。

応用ユニット科目

国際文化産業特殊講義 C

現代のビジネスにとって必須のITを正しく理解し、なぜ今ITが重要なのか、自らがITを活用するには何が必要か。これらを自らが理解できるようになることを目指す。その上で、新しい考え方と方法を用いて地域経済の活性化に向けて、自らがどのような行動がとれるのか、これを考えられるようになることを目標とする。

観光・リゾート開発論

政府の政策や環境変化から生まれてきた「新たな観光」が、地域社会でどのように展開され、地域にどのような影響を与えているのか事例を交えながら概説し、共に考えていく。過去のリゾート開発の失敗を教訓とし、事例ごとの地域づくりについて分析する力を養うことができるようになる。また、それらを分析した結果、論理的な思考をもとに地域にあった観光

によるまちづくりの手法を身につけることが出来るようになる。

ホテル産業論

ホテル産業の歴史や成り立ちや位置付けといった概要、また、ホテルの所有と経営と運営の違いについて解説し、ホテル産業に関する必要な基本的知識を学習します。ホテル産業を取り巻く市場環境を理解した上で、業界の仕組みや直面する経営問題について考察します。また、ホテル各部門の業務内容について理解し、働く人たちのキャリア、ホテル業界を取り巻く環境や他の要素との関係性などについて学習します。

地域産業論

内閣府、文部科学省が大学での履修を勧めている RESAS（地域経済分析システム）の基礎的な活用方法を学ぶと同時に、それらから得られたデータをもとに、地域産業や地域経済が直面している問題点や課題を理解する。

ブライダル産業論

昨今のブライダルマーケットの変遷や実状を理解し、外から見る以上に専門性が必要とされるブライダル業界における職業について、知識をしっかりと学んでいただく。ブライダル業界における仕事の内容から、単に知識だけでなく、ホスピタリティマインドを備えた人として顧客に接する基本的な姿勢を理解し社会人としての「コミュニケーション」の重要性にも焦点をあてる。今後のウェディング業界の広がりを知る機会となる。